



学校だより

墨田区立立花吾嬬の森小学校
<http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/>

令和6年2月1日
2月号/第219号
14学級 373名
墨田区立花 1-18-6
電話：3618-4911
校長 向井 一郎

真贋を見極めること

2月になりました。毎年この時期、月が変わっていくのを早く感じます。1月はあっという間に終わり、2月も連休を喜んでいるうちに月末になってしまいます。卒業、進級までの日々を大切にしていきたいです。

昨年の秋頃から買い集めたモノがあります。今から50年以上前の学習図鑑です。当時の少年少女は、みんな夢中になって読んだのではないのでしょうか。「なぜなに学習図鑑シリーズ」といいます。出版元は児童書の大手出版社です。執筆者も大学の有名な先生方です。当時我が家の本箱にもこのシリーズが並んでいました。ポロポロになって処分してしまったこの図鑑をもう一度読みたくなったのです。古本屋を回ったり、ネットオークションを利用したりして、再び数冊が我が家の本棚に帰ってきました。タイトルと表紙を見るだけで子ども時代のワクワクドキドキ感がよみがえります。プラモデルの箱絵などでも有名な小松崎茂画伯たちが描いたの迫力のあるカラー画とQ&A形式の説明文に夢中になりました。今では考えられないような学習図鑑のタイトルです。第1巻がいきなり「きょうりゅうと怪獣」です。第3巻の「世界のふしぎ」では円盤と宇宙人のことが詳しく書かれていました。第6巻「スピードくらべ」では、ウルトラセブンと新幹線が競争をし、第18巻の「世界の大怪獣」は世界各地に今でも恐竜が生き残っているという内容でした。このシリーズをもう一度全巻揃えたくまりました。当時、このような図鑑ばかりを読んでいたので、小学生の一郎君の頭の中では怪獣と恐竜と宇宙人が実在するものとして暴れ回っていました。(そのため大人になってもネッシーを信じ続け、とうとうネス湖まで行ってしまいました。)図鑑は現在の常識では絶対にあり得ないような編集のスタイルでした。今回50年ぶりにそのページを開いて気づきました。刺激的なカラーページの隅に、小さな文字で「おうちの方へ」と、記事の内容についての解説がついていたのです。当時これには気づきませんでした。

当時、子供たちが情報を得るのは書物からでした。50年前の図鑑は、怪しい内容が記されているようでしたが内容の真贋については、親向けの解説が添えてありました。現代はネットで検索すれば様々な情報、画像、映像が目の前に現れます。その一つ一つが真実なのかどうかを見分けることはかなり難しいでしょう。保護者向けの解説の無い情報が子供たちにそのまま飛び込んできます。

先日、5年生の子供たちが社会科の学習で「情報」について調べ、自分たちの考えをまとめていきました。全国紙、地方紙などを調べ、世の中の様々な情報と自分たちの生活とのかかわりを調べていったのです。多くの子供たちが、情報を正しく活用すること、真実かどうかを正しく見極める力をもつことの大切さに気付いていました。特に非常時、災害下でのフェイクニュースや画像に気を付けたいということを意見として述べていました。大事なことだと思います。

日々の生活の中でも「うわさ」や根拠のない「情報」に惑わされないようにして、学校生活を送ってほしいと願っています。



2月の予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	31	01 朝読書	02 集会	03 土曜授業 学校公開日 たちあがり活動 PEPTトーク講演会(5.6年)	04
05 委員会活動 全校朝会 B時程	06 学級の時間	07 読み聞かせ B時程 図書ボランティアによる 読み聞かせ	08 学級の時間	09 朝自習	10 安全指導 特支合同送別会 (なのはな5年)	11 建国記念の日
12 振替休日	13 全校朝会	14 学級の時間 4時間授業	15 朝読書 避難訓練	16 集会 B時程 新1年保護者会	17	18
19 クラブ活動 食育の日 全校朝会 B時程	20 学級の時間	21 朝読書 6年保護者会(14:40~)	22 音楽朝会	23 天皇誕生日	24	25
26 委員会活動 B時程	27 学級活動	28 朝読書	29 お楽しみ集会	01	02	03

(予定表内にあるカッコ内の数字は該当学年です。)



今月の目標



◎生活目標 寒さに負けず元気に過ごそう

◎保健目標 かぜ・インフルエンザを予防しよう

◎給食目標 和やかに会食しよう



連合展覧会



1月17日～20日の期間、第三吾孺小学校で墨田区連合児童作品展覧会が行われました。本校からは37名の作品が出品されました。

墨田区の図画工作研究部会では「つづく つながる 子どもの表現」の研究テーマのもと、授業研究を行っています。子供たちのやってみたいという気持ちを引き出し、持続・発展できる題材や指導方法を考えています。会場には子供たちの生き生きとした作品があふれ、自分の思いを保護者に伝える児童の姿や、どうやって描いたのだろうと想像しながら鑑賞する来場者の姿がありました。

連合書写展

墨田区では毎年区の連合書写展が行われています。

今年度も1月24日（水）～27日（土）まで墨田区役所リバーサイドホールで行われました。テーマは、「正しくのびのびと表現する」です。本校からも、各学年代表の作品が出展しました。みんな堂々とした文字で書くことができている素晴らしいです。



校内でも書き初め展が行われました。保護者の方々には放課後來校いただき、お子さんの作品を見ていただけたと思います。

冬休み前から練習し、冬休み明け学校で、清書を書く時間をそれぞれ設けました。書き初めを書くみんなの姿はとても集中していて感心させられました。どの子どものびのびと表現していました。（左の画像は、校内書き初め展 6年生の作品です。）

たちあづ班活動

「たちあづ班活動」とは、1年生から6年生まで全ての学年を含んだ縦割り班で、分かれて行う活動のことです。12月までは6年生がリーダーとなって、全学年が楽しむことのできるゲームやクイズを考え、運営してくれていました。さて、下の写真は1月20日（土）に、6年生からバトンを引き継いで、新たに「たちあづ班」のリーダーとなった5年生を中心に活動をしている様子です。最初は緊張している様子の5年生でしたが、6年生に見守られ、助けられながら徐々に高学年らしく班をまとめ、楽しい活動にすることができました。

フルーツバスケット



10秒お絵かき



ドッチボール



だるまさんが転んだ



カードひっくり返しゲーム



鬼ごっこ

